

(別紙2 - 1)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 12月 26日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271402085		
法人名	有限会社 エイエムエスカンパニー		
事業所名	グループホーム ほびある		
所在地	長崎県南島原市深江町丙 1899-2		
自己評価作成日	平成24年11月29日	評価結果市町受理日	平成25年1月4日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 一階
訪問調査日	平成 24年 12月 11日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ターミナルケアも今年度2件実施し、開設以来5名の方が当ホームにて終末を迎えられました。慣れ親しんだホームにて、ご家族も利用者様も不安なく安心して過ごされておられます。介護するスタッフと地域周囲の方との連携して支えられているグループホームです。皆さんに愛される事業所でありたいと常に思っています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは、エントランスは明るく温かい雰囲気である。また掃除が行き届き温湿度にも配慮されたホーム内は快適で健康的な生活が営まれている。  
「個人の意見を尊重し個々に合った生活を」の理念を基に、日常の散歩における地域の方との交流、筋力アップに繋がる運動、きめ細かなトイレ介助などの自立支援を重視した動作援助に力を入れている。利用者本人の可能性を見極めた援助の結果、要介護度が改善され、自宅で生活できるようになり退居に至った事例が数件ある。  
管理者は利用者の尊厳を守るには、自立支援が重要であると、職員を指導しており、さらに今後が期待できる事業所である。

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム独自の理念を掲げ常に念頭に置き、スタッフ一同介護に努めている。毎朝のミーティングで確認する。	ホームの理念を基本に、毎月重点的に取り組む課題をスローガンとして決め、ミーティング等で職員の意識づけを図っている。職員は理念を理解しており利用者一人ひとりに適したケアを実践している。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には積極的に参加している。(年に一回の大掃除、学校行事)	散歩や老人会のグランドゴルフ見物など、日常的な交流があり、ホームの畑で収穫したさつまいもの焼き芋を近隣の方と楽しんだ。例年、自治会集会所で行う敬老会は地域の方や家族と共に楽しむ機会となっている。また中学校や専門学校の実習生受け入れも行い人材育成に貢献している。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員会等で支援協力を求めている。		
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議であがった意見やアドバイスは外から見た意見として率直に受け取り日々のケアにも反映させている。	参加者から地域の情報や家族の意見を聞くことができ情報交換の場となっている。また事業所から運営方針や現状報告を行い理解を得る中で、地域代表から地域でできる事があれば協力したいなどの発言があり地域密着のホーム運営に資する有意義な会議となっている。	
5	4	<b>市町との連携</b> 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常日頃より何かあれば連絡を取りながらスムーズな支援が出来る様協力しあっている。	事務手続・相談での担当者との関係は良好であるが、行政側には、グループホーム連絡協議会等での意見交換・介護現場への研修参加など、もっと現場を理解してほしいとの思いを持ちつつ現状を伝え協働関係構築に努めている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束に関する指針を掲げ、又、委員会を設けてスタッフにも周知徹底している。</p>	<p>身体拘束の無いケアを実践している。職員は、利用者の環境など背景にあるものを考え、気持ちの状態にも配慮して支援を行っている。「ヒヤリ・ハット」も、その場に居合わせた職員全員が報告書を記入することで、原因や対策を学習し、また情報の共有も図っている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>常に人格尊重を心掛けてケアを行っている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用</p>	<p>制度については研修等で勉強し理解しており必要時には対応出来る様になっているが、現在利用されていない。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には必ず重要事項説明書にて十分な説明を行い、納得された上で、サインを頂いている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口や意見箱の設置、又ケース会議参加や面会時の情報交換にて反映させている。</p>	<p>利用者の健康状態、病院受診、排泄等に関する「近況報告書」を書面にて毎月お知らせする機会を利用して、要望・意見の呼びかけを行っている。また面会時にも要望等を伝えやすい関係ができており、家族からの献立の要望、本人からの電気毛布を使いたいとの希望にも応えることができた。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1度のスタッフ全員によるミーティングの時や毎日の業務の中での気付きや提案等常に傾聴している。</p>	<p>職員自らが、改善点を見つけ、働きやすい職場づくりを実践している。管理者は職員との関わりも大事にしながら意見を運営に反映させ、また休憩時間にも配慮するなど、双方が信頼関係の中、役割分担し協力し合いながら運営がされている。</p>	

12	<p><b>就業環境の整備</b></p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>研修に参加できるように勤務体制を組んでいる。</p>		
13	<p><b>職員を育てる取組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内はすべて回覧し、参加出来る様になっている。又、ホーム内でも介護技術等研修を行っている。</p>		
14	<p><b>同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>外部の研修会等に参加する事により、交流する機会を設けている。</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居時にアセスメントをしっかりと行い、今までの生活を理解した上で、本人の要望をとらえケアに生かしているようにしている。</p>		
16	<p><b>初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の思い、不安、困り事をしっかりと聞き取り、話し合いをする事により安心納得出来る様にしている。</p>		
17	<p><b>初期対応の見極めと支援</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>今一番必要とされている支援は何かをきちんと見極め対応している。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>介護する側、される側の関係ではなく、一人の人としての関係を築く様にしている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えている関係を築いている</p>	<p>常に家族と情報交換、提供を行いながら、協力し支援を行っている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>買い物や散髪等以前から利用されている店を利用したり、友人、知人等気軽に面会に来られたりしている。</p>	<p>家族や地域の方の訪問も多く、家族支援で墓参りや法事にも参加し、懐かしい場所でも馴染みの方々の時間を過ごされている。家族と共に外食やドライブに出かけたり、近くのスーパーでの買い物を楽しまれる利用者もある。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士がコミュニケーションをとりやすい様に配慮し、お互い楽しく過ごされている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所されてからは、関わりは少ないが何かあればいつでも相談して下さいと必ず伝えている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>常に把握に努め、検討している。</p>	<p>職員は一人ひとりに寄り添い、意向の把握に努めている。帰宅願望があり不穏状態の利用者に対して言葉かけや寄り添う支援を行い、焦らずその方の背景にあるメッセージやシグナルに気付いたことで、再び趣味の手芸に楽しみを見だし、その人らしい笑顔を取り戻された利用者もある。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族や、担当ケアマネ等より情報収集を行い把握に努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>常に目配り気配りを行い現状把握に努めている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>サービス担当者会議を開き出来るだけ家族への参加を促している</p>	<p>担当職員は、食事・外出についても、本人が過ごしやすいような希望を家族・本人から聞くアセスメントを実施し、プランを作成・実践している。生活記録は時間を区切って丁寧に記入され全職員が把握・モニタリングを行い、新たなプランに繋げている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録は個人別にきちんと毎日記入し、入居者の状態把握に活用している。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>生活歴を活かしたケアに取り組んでいる。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>買い物や受診を通じての金銭管理等で支援している。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医に定期的に受信している。その都度変化があった場合情報提供している。</p>	<p>利用者や家族希望のかかりつけ医を継続して、定期的な受診支援を行っている。直接担当医から電話連絡があるなど、連携体制が取れている。また歯科医の訪問治療もあり、それらの情報は職員や家族が共有している。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携の看護師やホームの看護師への情報提供を行い健康管理に努めている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時には必ず、情報交換を行いスムーズに入退院出来る様支援している。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>事前に十分に説明話し合いを行い、必要時には訪問看護をとり入れた。主治医との連携を行い全員で出来る事は支援している。</p>	<p>事業所の方針を利用者・家族等に伝え、体制の整備等も行い希望に添えるようにしている。利用者が経口摂取できなくなるなどの状況変化は、随時家族への報告・説明を行っている。また看護師の配置もあることから医療連携も密に行うことができ、主治医から家族に説明をして頂くことで、安心感を持って頂いている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署と連携を取り、時々救急蘇生法等の訓練を受けたりしている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を行い、災害等発生時はスムーズに対応出来る様になっている。</p>	<p>昼夜想定避難訓練を実施し備品・備蓄食も調っている。また災害時は地域住民の協力が必要であることから、自治会協力を回覧や自治会総会で管理者自ら呼びかけ、賛同を得ている。さらに消防団にも協力依頼を行い近隣のグループホームとの連携体制もできている。</p>	<p>災害時は即刻利用者の健康状態や緊急連絡先等の情報が必要になることから、緊急持ち出しファイルなど情報伝達手段の整備を期待する。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に言葉使いには注意し対応を心掛けている。守秘義務の徹底	人格の尊重が特に重要であると考え、さりげないケアや言葉かけを行っている。外部研修には極力参加している。また内部で、看護師や介護職員自らがテーマを設け学習し他の職員に研修を行うなど、事業所全体で研鑽を重ね、プライバシーに配慮したケアのレベルアップを図っている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	外出等の支援を行っている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念に基づいた個々にあったケアに心掛けている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分が持っている洋服の中から選んで着たり、外出の際は、着替えたりとおしゃれをされている。おかしな組み合わせの時はアドバイスをしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備はなかなか入居者と一緒には困難だが、下膳テーブル拭き等一緒に行っている。	家族からもっと肉料理を提供して欲しいとの要望や利用者からそうめん、芋ご飯が食べたいという要望にも急遽献立を変更して対応した。また利用者はだんごや桜餅など月一回の全員での季節感のあるおやつ作りを楽しみにしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考え日々の献立作成し提供している。又、食事療法も出来る限り行っている。		



42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後は必ず口腔ケアを行っている。又、義歯洗浄もこまめに清潔保持に心掛けている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>出来るだけトイレ誘導を行っており、失禁を少なくする様努めている。トイレ誘導が困難な方は定期的にオムツ交換を行っている。</p>	<p>自尊心保持や運動量確保のためにも、自分でトイレに行くことが大事であると考え、自立支援を重視している。可能性を見極め、パターンを把握し極力トイレ誘導を行うことで失禁が無くなったり、リハビリパンツを外せたことで、生活に張りが出て要介護度が改善した利用者もある。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表にて確認し、定期的な緩下剤の服用水分補給等促している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ある程度の曜日等は決まっているが、体調や気分に合わせて入浴提供している。</p>	<p>週3回の入浴支援を行っている。入浴拒否の方には、タイミングやその方の思いを把握・尊重した対応を行い、援助している。毎日清拭や更衣をすることで清潔を保持し臭気への配慮がある。また、入浴の際の順番・湯加減など利用者の習慣や思いにも配慮して支援を行っている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>その日の状態を見ながらゆっくりと休息できる様促している。午水睡もほとんどの方がされている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の説明書にて、服薬を把握し介助時には間違いがない様名前、日付、朝昼夕の確認を徹底している。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>草取りや水やり、朝の掃除等楽しみながら日々行っておられる。又、野菜作り等も教えて下さり、一緒に作っている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している</p>	<p>買い物、散歩、ドライブ等外出の機会を設けている。</p>	<p>天候が良い日は毎日、周辺の散歩に出かけており、一人での散歩を好む利用者には遠目で見守り、また近所の方も関心を持って声かけをして頂くなど、ふれあいや交流の機会ともなっている。花見等のドライブにも行き、また食事や演芸観賞に家族支援で出かけて楽しめる利用者もある。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で金銭管理が出来る方は自分で持っておられ、買い物時は時自分で払っておられる。他の方も買い物に出掛け、職員と一緒に支払ったりしている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>自由に電話をしたり、手紙を書いたりしておられる。必要に応じては支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よくしている</p>	<p>入居者の作品を展示したり、植物や花を飾ったり居間にはクッション座布団を置きくつろいでおられる。</p>	<p>空気清浄器が設置されているが、温度・湿度も適切であり臭いもなく清潔感がある。畳とソファが置かれている居間には、利用者が思い思いに寛ぎ家族的な雰囲気となっている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>廊下や食堂等にソファや椅子を置いており、ゆっくりと座りながら話しをしたりされている。又、一人でゆったりと座り、外を眺めておられる事もある。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで自宅で使っていた椅子等持って来られたりTVを置いたりと自由に工夫をされている。	個室には加湿器が置かれ、乾燥や感染症対策の配慮がされている。掃除が行き届き清潔で、各自の生活歴を感じさせる写真などが持ち込まれた部屋づくりがされ落ち着いた空間となっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安 環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険物は取り除き、安全に自立した生活が送れる様にしている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらい 3, 利用者の1/3くらい 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>ホーム独自の理念を掲げ常に念頭に置き、スタッフ一同介護に努めている。毎朝のミーティングで確認する。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の行事には積極的に参加している。(年に一回の大掃除、学校行事)</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>運営推進委員会等で支援協力を求めている。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議であがった意見やアドバイスは外から見た意見として率直に受け取り日々のケアにも反映させている。</p>		
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>常日頃より何かあれば連絡を取りながらスムーズな支援が出来る様協力しあっている。</p>		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束に関する指針を掲げ、又、委員会を設けてスタッフにも周知徹底している。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>常に人格尊重を心掛けてケアを行っている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度については研修等で勉強し理解しており必要時には対応出来る様になっているが、現在利用されていない。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には必ず重要事項説明書にて十分な説明を行い、納得された上で、サインを頂いている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口や意見箱の設置、又ケース会議参加や面会時の情報交換にて反映させている。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1度のスタッフ全員によるミーティングの時や毎日の業務の中での気付きや提案等常に傾聴している。</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>研修に参加できるように勤務体制を組んでいる。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内はすべて回覧し、参加出来る様にしている。又、ホーム内でも介護技術等研修を行っている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>外部の研修会等に参加する事により、交流する機会を設けている。</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居時にアセスメントをしっかりと行い、今までの生活を理解した上で、本人の要望をとらえケアに生かしていくようにしている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の思い、不安、困り事をしっかりと聞き取り、話し合いをする事により安心納得出来る様にしている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>今一番必要とされている支援は何かをきちんと見極め対応している。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>介護する側、される側の関係ではなく、一人の人としての関係を築く様になっている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>常に家族と情報交換、提供を行いながら、協力し支援を行っている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>買い物や散髪等以前から利用されている店を利用したり、友人、知人等気軽に面会に来られたりしている。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士がコミュニケーションをとりやすい様に配慮し、お互い楽しく過ごされている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所されてからは、関わりは少ないが何かあればいつでも相談して下さいと必ず伝えている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>常に把握に努め、検討している。</p>		



24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族や、担当ケアマネ等より情報収集を行い把握に努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>常に目配り気配りを行い現状把握に努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>サービス担当者会議を開き出来るだけ家族への参加を促している</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録は個人別にきちんと毎日記入し、入居者の状態把握に活用している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>生活歴を活かしたケアに取り組んでいる。</p>		

29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>買い物や受診を通じての金銭管理等で支援している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医に定期的に受信している。その都度変化があった場合情報提供している。</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携の看護師やホームの看護師への情報提供を行い健康管理に努めている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時には必ず、情報交換を行いスムーズに入退院出来る様支援している。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>事前に十分に説明話し合いを行い、必要時には訪問看護をとり入れた。主治医との連携を行い全員で出来る事は支援している。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署と連携を取り、時々救急蘇生法等の訓練を受けたりしている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を行い、災害等発生時はスムーズに対応出来る様にしている。</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に言葉使いには注意し対応を心掛けている。守秘義務の徹底		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	外出等の支援を行っている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念に基づいた個々にあったケアに心掛けている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分が持っている洋服の中から選んで着たり、外出の際は、着替えたりとおしゃれをされている。おかしな組み合わせの時はアドバイスをしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備はなかなか入居者と一緒には困難だが、下膳テーブル拭き等一緒に行っている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考え日々の献立作成し提供している。又、食事療法も出来る限り行っている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は必ず口腔ケアを行っている。又、義歯洗浄もこまめに清潔保持に心掛けている。		

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>出来るだけトイレ誘導を行っており、失禁を少なくする様努めている。トイレ誘導が困難な方は定期的にオムツ交換を行っている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排泄チェック表にて確認し、定期的な緩下剤の服用水分補給等促している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>ある程度の曜日等は決まっているが、体調や気分に合わせて入浴提供している。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>その日の状態を見ながらゆっくりと休息できる様促している。午水睡もほとんどの方がされている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬の説明書にて、服薬を把握し介助時には間違いがない様名前、日付、朝昼夕の確認を徹底している。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>草取りや水やり、朝の掃除等楽しみながら日々行っておられる。又、野菜作り等も教えて下さり、一緒に作っている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>買い物、散歩、ドライブ等外出の機会を設けている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金の所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で金銭管理が出来る方は自分で持っておられ、買い物時は時自分で払っておられる。他の方も買い物に出掛け、職員と一緒に支払ったりしている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>自由に電話をしたり、手紙を書いたりしておられる。必要に応じては支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者の作品を展示したり、植物や花を飾ったり居間にはクッション座布団を置きくつろいでおられる。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>廊下や食堂等にソファや椅子を置いており、ゆっくりと座りながら話しをしたりされている。又、一人でゆったりと座り、外を眺めておられる事もある。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで自宅で使っていた椅子等持って来られたりTVを置いたりと自由に工夫をされている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険物は取り除き、安全に自立した生活が送れる様にしている。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできて	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない